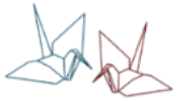


# 未来に向かって伸びる鶴嶺の子

## 鶴小だより11号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校  
校長 日高 大司郎  
令和5年11月1日発行



### かっこいい大人であいたい12

今回は、暴風雨等の対応やその他について、改めて皆様と共通理解したい内容について書きます。

#### 風水害等についての基本の対応

本年度4月15日付けで発出しております、「大きな災害に備えてのお知らせ」に沿っての対応をご確認ください。

- 午前6時30分の時点で、【警報】が発令されれば、原則自宅待機とする。
- 6時30分～8時30分の間に警報が出た場合は、警報が出た時点で保護者の判断で自宅待機とする。
- ～略～ 状況に応じて登校が危険な場合は、保護者の判断を優先いたします。その場合には、遅刻・欠席扱いにはいたしません。その際は、学校にお知らせください。

となっています。

9月の台風では、6時30分の時点で警報は発令されていなかったものの、7時30分過ぎに警報が発令されたことから、学校がメール配信した時点ではもうお家を出てしまっていた子どもたちが多くいて、お迎えの対応等保護者の皆様にご協力いただきました。

ここで確認させていただきたいのは、**お子様の安全を守るのは、学校はもちろんですが、保護者のみなさんだ**ということです。学校は保護者のみなさんの判断を尊重しますので、今回のような難しいケースの場合も、それぞれに判断をさせていただいて構いません。学校からの通知を待たず、かっこよくご判断いただければと思います。

#### SNSの利用について

SNSの利用が当たり前になって、皆様のなかにも、利用されている方が多いと思います。この利用についても、スマートにかっこよく利用していただきたいと思っています。

まず、当たり前のことですが、学校行事等でお撮りになった写真についてです。子どもたち1人1人に肖像権がありますので、勝手にSNSにアップすることは許されません。また、ご自身のお子さんであったとしても、**不特定多数の方が目にするところにお子さんの写真をアップすることは、安全上問題がある**と思っています。特定の仲間だけに、鍵をかけて公開することが最低限必要と考えています。誰が見ているかも分からず、犯罪につながるかもしれない時代だからです。

また、お子さんが学校のことや学級のことについて、話している内容について、グループのLINE等で発信することも問題があります。気になったり心配になったりする気持ちは分かります。しかし、子どもがいつも事実を言うとは限りませんし、それが事実だったとしても拡散したときのことを考えなければなりません。その発信が誰か別のお子さんについてのものだったりしたら、事実であるかも分からないことが、保護者の中に広がることとなります。それが事実とは違っていたら、そのお子さんの保護者から「名誉毀損」と訴えられる可能性だってあります。

皆さんが、学級等について心配なことを、保護者同士で相談するときは、そこだけの話として対面で話すべきだと思いますし、何よりも担任や学校管理職に話す内容だと考えます。子どもたちがよりよく育つことを学校は願っています。そのため、保護者の皆さんと学校は手を携えなければならないのです。そして、それが大人としてすべきことだと考えます。

#### 周りへの気遣いについて

バス遠足の出発の時に、お見送りしてくださった保護者の皆さんがいらっしゃいました。それはうれしいことなのですが、自分のお子さんを追うあまりに、出発するバスの邪魔になってしまう姿や、バスが出た後フジスーパーに置いてあったご自分のお車に乗り込む姿も目にしました。

バス駐車を認めてくださったスーパーや大きなバスを運転してくださる運転手さんを「気遣う」ことができれば、それが「かっこ悪い」と気づけるはずですが、僕らは、1人では生きられないからこそ、相手の立場や相手のことに思いを馳せなければならないと思います。

僕は初任の時、子どもたちに様々なお小言を言ったり、何かを語ったりした後、落ち込んでいました。それは、「自分はそうできているのか？」と自分の言葉が、いつも自己に対する問いになっていたからです。自分の発した言葉と自分の生き方を少しでも合わせたいと思ったものでした。

僕は、保護者の皆さんに「かっこいい姿」でいていただいて、その姿をお子さんにたくさん見せてほしいと思っています。子育ては、自分育ての面があるのです。自分を「かっこよく」育てましょう。難しいけれど、大切な我が子のために一緒に取り組んでみませんか。